

カルチャー

ライフ／シニア／シネマ／学ぶ・遊ぶ



エルガー作品一挙に

仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団の第64回定期演奏会が10月15日、仙台市青葉区の東北大百周年記念会館川内萩ホールで開かれる。英国を代表する作曲家エルガーの作品だけで構成する、意欲的な演奏会だ。

指揮は東京室内管弦楽団プリンシパルコンダクターの橋直貴さん、チェロ独奏は仙台フィルハーモニー管弦楽団ソロ首席奏者の三宅進さん。曲目は「行進曲『威風堂々』第4番」、「チェロ協奏曲」と「交響曲第1番」。交響曲第1番は50歳を過ぎたエルガーが満を持して取り組んだ作品だ。

橋さんが2014年の第59回



定期でエルガーの「エニグマ変奏曲」を指揮した時、「機会があれば交響曲第1番を取り上げたい」と希望。オール・エルガー・プログラムにつながった。

橋さんは「エルガーには隠れた名曲が多く、今後レパートリーとして定着してくれる作曲家だと思う」と指摘。「交響曲第1番は技術

仙台ニューフィル定期演奏会



定期演奏会に向け練習する仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団

的にハードルが高いが、仙台ニューフィルなら、きっと聴衆にメッセージを伝えられるはずだ」と語る。

午後2時開演。入場料は一般1000円、高校生以下500円。連絡先は仙台ニューフィル事務局022(375)9654。